

聖餐式 2020. 8. 30 聖霊降臨後第 13主日

特 禱 特定 17

旧約聖書 エレミヤ書 15:15-21

日課詩篇 第 26 篇 1-8節

使徒書 ローマの信徒への手紙 12:1-8

福音書 マタイによる福音書 16:21-27

聖霊降臨後第 13主日特禱 特定 17

慈しみ深い神よ、あなたはみ恵みを常にわたしたちに先立たせ、また伴わせてくださいます。どうかこの恵みによって絶えずすべてのよい業を行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 エレミヤ書 15:15-21

あなたはご存じのはずです。主よ、わたしを思い起こし、わたしを顧み、わたしを迫害する者に復讐してください。いつまでも怒りを抑えて、わたしが取り去られるようなことがないようにしてください。わたしがあなたのゆえに辱めに耐えているのを知ってください。あなたの御言葉が見いだされたとき、わたしはそれをむさぼり食べました。あなたの御言葉は、わたしのものとなり、わたしの心は喜び躍りました。万軍の神、主よ。わたしはあなたの御名をもって、呼ばれている者です。わたしは笑い戯れる者と共に座って楽しむことなく、御手に捕らえられ、独りで座っていました。あなたはわたしを憤りで満たされました。なぜ、わたしの痛みはやむことなく、わたしの傷は重くて、いえないのですか。あなたはわたしを裏切り、当てにならない流れのようになられました。それに対して、主はこう言われた。「あなたが帰ろうとするなら、わたしのもとに帰らせ、わたしの前に立たせよう。もし、あなたが軽率に言葉を吐かず、熟慮して語るなら、わたしはあなたを、わたしの口とする。あなたが彼らの所に帰るのではない。彼らこそあなたのもとに帰るのだ。この民に対して、わたしはあなたを堅固な青銅の城壁とする。彼らはあなたに戦いを挑むが、勝つことはできない。わたしがあなたと共にいて助け、あなたを救い出す、と主は言われる。わたしはあなたを悪人の手から救い出し、強暴な者の手から解き放つ。」

日課詩篇 第 26 篇

- 1 主よ、わたしを救ってください // わたしは誠実に生き、あなたに信頼して揺らぐことがない
- 2 主よ、わたしを試み、ためし // 心と思いを調べてください
- 3 慈しみはわたしの目の前にあり // わたしはあなたに忠実に歩む
- 4 わたしは偽る者とともに座らず // 偽善を行う者と交わることがない
- 5 悪を行う者の集いを退け // 悪人と席をともにしない
- 6 主よ、わたしは手を清めて // 祭壇の周りであなたに仕える
- 7 わたしは賛美の歌を献げ // あなたの不思議な業をみな宣べ伝える
- 8 主よ、あなたの栄光のとどまる所 // あなたの家をわたしは慕う

使徒書 ローマの信徒への手紙 12:1-8

こういわけて、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして獻げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて自分を改めていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。わたしに与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分を過大に評価してはなりません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の度合いに応じて慎み深く評価すべきです。というのは、わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っていても、すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いが、キリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから、預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えに、勧める人は勧めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。

福音書 マタイによる福音書 16:21-27

このときから、イエスは、御自分が必ずエルサレムに行つて、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあつてはなりません。」イエスは振り向いてペトロに言われた。「サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。」それから、弟子たちに言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負つて、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを得る。人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失つたら、何の得があろうか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。人の子は、父の栄光に輝いて天使たちと共に来るが、そのとき、それぞれの行いに応じて報いるのである。

代祷

- 平和を実現するキリスト者ネットの働きのため
- マイノティー宣教センターのため
- 新型コロナウイルス感染症に苦しむ人々のために、また新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息されますように
- 山手グループ協議会のため
聖三一教会の代沢こども文庫のため
- 病床にある方々のため